

＜研究代表者＞

水島司:東京大学大学院人文社会系研究科/教授



＜専門分野＞
グローバル・ヒストリー、南アジア史、「歴史空間情報システム(H-GIS)」

＜Webページ＞
http://www.l.u-tokyo.ac.jp/ahgis/index_j.html

＜研究目的・概要＞

世界の潮流に決定的に遅れている
日本のグローバル・ヒストリー研究の現状

本研究=近代アジア諸地域の開発過程と、アジア自身が果たした世界史的役割を多角的に解明

歴史空間情報システム(H-GIS)を駆使し、グローバル・ヒストリー研究の先端的な事例を提供

欧米が築いてきた近代世界像を転換し、アジアが主役となる21世紀にふさわしいグローバル・ヒストリーを生み出す

＜研究計画の特徴＞

- (1)研究手法の先進性
アジアのH-GIS研究基盤を確立し、それを駆使したパイロット・スタディーを国際学会に提示
- (2)グローバル人材の育成
アジアの研究者との共同研究への参加によるグローバルに活躍できる若手研究者の育成
- (3)アジア全域のGIS研究基盤の整備
欧米に較べて圧倒的に劣位にあるアジアのGIS基盤を海外研究者と共に整備して広く提供

＜目標とする研究成果＞

- (1)日本発の新学術分野の構築
グローバル・ヒストリー研究にH-GISを導入する画期的な研究であり、国際的に大きなインパクトを与える。とりわけ、アジア全域のGIS基盤を提供することで、アジアでの研究を主導しうる新たな学術分野を構築する。
- (2)日本の研究のグローバル化
若手研究者をキャリア・パスの初期段階から内外のシニア研究者と共同研究させることで、世界の研究を先導しうる研究者を育成する。